



学



校



便



り

第16号

since2006

久田学園佐世保女子 高等学校  
2007.11.14 (2007年度 第7号)

# 『おにぎリンピック』開催！！



11月10日〔土〕、今年も華やかに「第2回おにぎリンピック」を開催しました。お天気が心配されましたが、見事な秋晴れのもと、楽しい時間を共有することができました。4部門に合計47チーム・約100名の参加者に、ご家族など応援や見学の方々を加えまして、200名を超える皆さんにお集まりいただきました。昨年は28チーム・約50名の参加でしたので、**ほぼ倍増した**と言えます。



何・・・？”という人のために、内容を説明したいと思います。まず目的ですが、誰もが知っているみんなが大好き、そしてシンプルな日本食である“おにぎり”。この手軽な食べ物を通して『食』のことを気軽に考えてもらおうということです。確かに現代の『食』に関する話題や問題はたくさんありますが、ひとまず脇に置いて、力を抜いて考えることも大切です。何よりも**「楽しくつくって、みんなで食べる」「みんなで作って、楽しく食べる」**このことが『食育』の基本中の基本ではないかと思えます。このような背景のもと、『早にぎり部門（親子）』『早にぎり部門（ジュニア）』『デザイン部門』『職人をさがせ』の4つの競技を設定しました。

『早にぎり』とは、90秒間でおにぎりを握った数を競います。味つけは塩、形は三角で、大き過ぎず小さ過ぎず標準的な大きさのおにぎりをプレートに並べていきます。ここで倒れてしまっただけにカウントされません。この『早にぎり』は親子の部（小学生以下の子と保護者の2名）、ジュニアの部（中学生以下3名）に分かれています。

『デザイン部門』は、直径40センチの白いお皿に大小色とりどりのおにぎりを並べて、絵を描いてもらう競技です。色つけは、赤（梅干し）、黄（サフランライス）、緑（青海苔）、黒（ゴマまたは海苔）、茶（おかか）、ピンク（でんぶ）をおにぎりに混ぜ込んだり、包んだりして表現します。テーマは各チーム自由に設定してもらい、アイデアとデザイン性をもとに審査します。『職人をさがせ』は、今回唯一の当日飛び入りOKの競技です。あらかじめ用意された見本のおにぎりを最初に1度だけ手に持ち、その後、同じ重さだと思っておにぎりを握ります。その中で一番見本の重さに近い人が優勝となります。

競技終了後は昼食です。競技でつくったおにぎりをいただきます。自分で実際に握ったおにぎりはもちろん、まったく知らない人が握ったおにぎりも口に運びます。逆に、自分が握ったおにぎりを誰かが食べているということを考えると、なんだか不思議な気がしてきます。それにしても簡単な調理法？と味つけだけなのにどうしてこんなに美味しいのでしょうか。やはり握る人の手と食べる人の手を通して、その人の体温や気持ちまで伝わってくるようで、そこに美味しさの秘密が隠されているのかもしれません。また13:00近くという時間もあって、皆さん**おながペコペコ**だったようで、パーベキューや鍋のコーナーにはたくさんの方が列を作っていました。その後、お楽しみの「野菜大抽選会」、「表彰式・閉会式」と続き、無事終了し、参加者の皆様にはもちろん、米1kgを含む参加賞をお持ち帰りいただきました。このイベントの反響は大変大きく、当日の夜7:00のNHKニュースでも**全国的に放送**されました。



炊飯から出し入れ、事前の準備など裏方として頑張ってくれた生徒の皆さん、お疲れ様でした。あなたたちの働きでほぼ滞りなく進行することができました。**おにぎりを一杯食べて、今後の学校生活も充実させていきましょう!!**また、開催にあたりまして後援・協賛いただきました団体、企業の皆様に深く感謝し、お礼を申し上げます。

【後援】 農林水産省九州農政局長崎農政事務所 佐世保市教育委員会

【協賛】～五十音順～

伊藤園・グローバルスポーツ・西部ガス・佐世保朝市・佐世保魚市場協会・佐世保青果(株)・JTB佐世保支店  
正和海苔店・田中精肉店・とっぺんフーズ・平戸海上ホテル・ぼると総本舗・弓張の丘ホテル



## 『早にぎり（親子の部）』は大混戦！！



第1番目の競技としてスタートしたのが、早にぎり（親子の部）です。下は4歳から64歳のおばあちゃんまで、33組のご家族が力を合わせてチャレンジしました。昨年に比べお父さんの参加も目立ちました。

テキパキと握っていくお母さん。ごちない手つきで苦笑まじりのお父さん。そんな大人をよそに、マイペースで楽しんでいる子どもたち。個数を競う競技ではありません。

ますが、何とも言えない和やかな雰囲気が漂います。競技が終わると、緊張感が解けたのか、みんな笑顔。応援する人・見学している人も笑顔。目の前に並ぶ、自分がつくり上げたホカホカのおにぎりのように、会場にいる全員の心も温かくなっていくのがわかります。

気になる結果です。3位は“カッチ” “キラキラストー2” “おにぎり・へいっ！ おま”の3チームが17個。2位が“ゆいまー”で19個。そして「リゾートホテルペア宿泊券」を獲得した堂々の1位は22個を握った“おにぎりバンザイ”でした。昨年の記録が15個でしたので、おにぎりピック新記録樹立です。しかもお父さんと息子の男性ペアというのも驚きです。



※3位の3チームにはサイコロで表彰チームを決定しました。記録は同じなのですが、どうかご了承くださいと思います。

## 『早にぎり（ジュニアの部）』も大熱戦！！

続いて早にぎり（ジュニアの部）がスタート。小学生1・中学生4の計5チームでの競技です。3人編成ということや、普段から仲の良いグループと見えチームワークも良く、数がどんどん重なっていきます。練習してきたのかもしれませんが、形も大きさもしっかりできていたようです。小中学生でここまで握ることができたら、日本のおにぎりの未来は明るいでしょう。



3位は16個の“オニギリ・レンジャー”。2位は24個の“明治勃利酪酸乳(メイプル)リアヨーグルト”男子だけのチームです。1位は28個の“ゴンとゆかいな仲間たち”。女子の面目を保った形となりました。



出場した女子の皆さんは、将来しっかり者のお嫁さんになること間違いなしでしょう。一方の男子も、家事の分担ができる女性に人気の紳士へと成長できるでしょう。（あくまでも予想に過ぎませんので実際になれなかったらクレームはご遠慮ください。）



## 『職人をさがせ！！』はサプライズ・・・

唯一の当日飛び入り参加部門が『職人を探せ!!』です。会場から抽選で選ばれた8名が、見本の重さと同じおにぎりを手の感触だけでつくらなければなりません。今回は見本の重さを250gに設定。結果、255gのおにぎりをつかった市内の小学生が“第2代職人”に輝きました。ルールも良くわからないまま壇上に上がり、訳がわからないまま握ったところ、なんとその誤差わずか5g。何だか知らないうちに賞品までもらってしまった。見たところ、そんな感じでした。大人が悪戦苦闘する中で、まさに無欲の勝利と言えるでしょう。



# 注目の『デザイン部門』 勝者はどのチームに・・・



『デザイン部門』は全9チームで行ないました。各チーム、練りに練ったイメージを実際に皿の上で表現します。60分かけての大作は上手にできたのでしょうか？まずは作品をご覧ください。



左から  
“食べ過ぎ注意!!”  
〔恐竜チーム〕

“佐世保独楽”  
〔なかよしチーム〕

“男ならテゴイチ!!”  
〔シャムシェードチーム〕



“森の動物たち”  
〔護廷十四番隊チーム〕

“秋の味覚”  
〔チャンピオンチーム〕

“おしりかじり虫”  
〔オールウェルズSHOWAチーム〕



“おしりかじり虫”  
〔休日はお父さんと一緒チーム〕

“おいしカニざり”  
〔さるカニ合戦チーム〕

“マイ(米)ちゃん”  
〔マイちゃんチーム〕

どれもこれも様々なところに工夫の跡が見え、甲乙つけがたい感じです。各チームとも協力し合い、『あーでもない、こーでもない』と思案を重ね、おにぎりを配置していました。子どもも小さい手で懸命に大人のお手伝いをしていました。全部の作品が満点に違いありません・・・しかしそれに順番をつけるのが審査員の仕事です。難航した審査の結果、審査員特別賞に「恐竜チーム」、アイデア賞に「さるカニ合戦チーム」、そして温泉ペア宿泊券とともに最優秀グッドデザイン賞を獲得したのが「オールウェルズSHOWAチーム」と決定しました。



## 食育E.C.O活動にご協力、ありがとうございました。

本校は“食育E.C.Oモデル指定校”として、日々の学校生活を送っています。今回参加された皆様方に『My箸』をご持参いただきましたのもその一環です。また昼食に使用しましたお皿も、サトウキビの搾りかすでできており、先日、学校の農園に埋め、土に戻しています。地球から見れば小さな一歩かもしれませんが、いつか大きな歩みとなることを期待しています。ご協力ありがとうございました。





“笑顔”と“元気”をありがとう また来年お会いしましょう

